

スマート農業に対応した基盤整備

整備の方向性

- ロボットトラクターやドローンなどのスマート農業技術の導入効果を最大限に高めるため、水田の大区画化、汎用化、中山間地域における法面の緩傾斜化といった地域の実情に応じた基盤整備を推進
- 草刈りや、水管理など農作業の省力化を図るため、水路の暗渠化、幅広溝畔の設置、ICT自動給水栓の設置などを推進
- 園芸作物の生産性を高める大型車両の乗入れや停留ができ、収穫・搬出の効率を高めるため、ターン農道等の設置を推進

畦畔を除去しほ場を農道等で囲む形状に大区画化

→スマート農機の導入効果を最大化



用水路のパイプライン化やICT自動給水栓の設置

→水管理労力を軽減



水路の暗渠化や幅広溝畔を設置

→江ざらいや草刈りを軽減
→転落リスクを除去



ターン農道やほ場内農道の設置

→園芸作物等の集出荷作業の効率化



農地整備の内容をちょこっと紹介

工事内容を手軽に視聴できるショートムービー



表土剥ぎ



基盤整地



表土戻し



暗渠排水
(バックホウ)



暗渠排水
(トレンチャ)



動画一覧
(県HP)

